

製品安全データシート

1. 製品名及び会社情報

製品名 : コダール S 水和剤  
会社名 : 日本化薬株式会社  
住所 : 東京都千代田区丸の内 2 丁目 1 - 1  
担当部門 : アグロ事業部  
電話番号 : 03-6731-5325  
FAX 番号 : 050-3730-8045  
緊急連絡先 : 平日昼間 アグロ事業部(電話番号 03-6731-5325)  
休日・夜間 鹿島工場(電話番号 0479-46-2753)  
メールアドレス : [agro.info@nipponkayaku.co.jp](mailto:agro.info@nipponkayaku.co.jp)  
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響

環境影響 : 除草剤  
陸生及び水生の植物に影響がある。  
特定の危険有害性 : 特に知られていない。

GHS 分類

健康に対する有害性	: 急性毒性(経口)	区分 5
	急性毒性(経皮)	区分 5
	皮膚腐食性/刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B
	皮膚感作性	区分外
環境に対する有害性	: 水生環境有害性(急性)	区分 1
	水生環境有害性(慢性)	区分 1

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意換気語	警告
危険有害性情報	飲み込むと有害のおそれ 皮膚に接触すると有害のおそれ 水生生物に非常に強い毒性



長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き：

[安全対策]

この製品を使用する時に、飲食または喫煙はしないこと。  
 取り扱い後は良く手を洗うこと。  
 保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。  
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。  
 汚染された作業衣は作業所から出さないこと。  
 環境への放出は避けること。

[応急措置]

- ・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・皮膚についた場合：多量の水と石鹼で洗うこと。医師の診断/手当てを受けること。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合  
：医師の診断/手当てを受けること。
- ・漏出した場合：漏出物を回収すること。

[保管]

容器を密閉しておくこと。

[廃棄]

内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理すること。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名(又は一般名)：

2,4-ビス(イソプロピルアミノ)-6-メチルチオ-1,3,5-トリアジン【一般名：プロメトリン】  
 (S) -2-クロロ-2'-エチル-N-(2-メトキシ-1-メチルエチル)-6'-メチルアセトアニリド及び  
 (R) -2-クロロ-2'-エチル-N-(2-メトキシ-1-メチルエチル)-6'-メチルアセトアニリド  
 【一般名：S-メトラクロール】

成分及び含有量

成分	含有量(%)	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
プロメトリン	26.6	7287-19-6	5-3850	8-(3)-236
S-メトラクロール	24.8	87392-12-9(S 体) 178961-20-1(R 体)		4-(7)-1351 (メトラクロール)
二酸化ケイ素 (非晶質シリカ)	27~31	112926-00-8	1-548	
POE アルキルフェニルエーテル	2.0	9016-45-9	7-172	
その他	15.6~19.6	営業秘密につき非公開		



化学特性(化学式又は構造式) : プロメトリン  $C_{10}H_{19}N_5S$   
S-メトラクロール  $C_{15}H_{22}ClNO_2$

危険有害成分 : 特に知られていない

#### 4. 応急処置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気の所に移して安静にさせる。  
気分が悪いときは医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぎ、多量の水または石鹼水でよく洗い落とす。  
皮膚刺激や発疹が生じた場合には医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : 清浄な水で15分以上洗眼する。  
医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせてはならない。  
被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。  
直ちに医師の手当てを受ける。

最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報  
: 特別な情報はない。

応急処置をする者の保護  
: 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項  
: 特別な情報はない。

#### 5. 火災時の処置

消火剤 : 噴霧水・泡消火剤・粉末ドライケミカル・炭酸ガス(適宜、状況に応じて使用する)

使ってはならない消火剤  
: 冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。

火災時の特定危険有害性  
: 当該製品は分子中に窒素および硫黄を含有しているため、燃焼ガスには窒素酸化物、硫黄酸化物などの有害ガスが含まれる。  
消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する必要がある。

特定の消火方法  
: 消火作業は、可能な限り風上から行う。  
周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。  
移動不可能な場合は、周辺または容器に散水し冷却する。  
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼさないよう適切な措置を行う。

消火を行うものの保護(保護具等)  
: 消火に当たる者は、有毒ガスが発生するので呼吸保護具を着用する。  
消火の際は適切な保護具(マスク、眼鏡、手袋)を着用する。



## 6. 漏出時の処置

- 人体に対する注意事項：漏出(飛散)した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
処理時には保護具(防毒マスク、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣)を着用し、吸入したり、手足、顔などに付着しないようにする。
- 環境に対する注意事項：漏出(飛散)した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

### 除去方法

- 少量の場合：掃き集め、密閉容器に回収する。  
大量の場合：粉塵が飛散しないように注意しながらできるだけ掃き集め、密閉容器に回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### [取扱い]

- 技術的対策：炎、火花、もしくは高温体との接触または過熱を避ける。  
取扱場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
取り扱いは換気のよいところで行う。  
皮膚、粘膜、着衣への接触を避け、目に入らないようにする。  
発散した粉塵を吸い込まないようにする。  
休憩場所には、手洗い、洗眼などの設備をもうけ、取扱い後には手などをよく洗う。  
食品や飼料への混入を避けること。  
指定された場所以外では、飲食、喫煙しないこと。  
保護衣、保護眼鏡、保護手袋など、適切な保護具を着用する。  
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの乱暴な取り扱いをしてはならない。
- 注意事項：みだりに粉塵が発生しないように取り扱う。
- 安全取扱い注意事項：機器類は防爆型(安全構造)とし、設備は静電気対策を実施する。

### [保管]

- 適切な保管条件：直射日光を避ける。  
低温の乾燥した場所に、密封して保管する。  
食品、飼料と一緒に保管しないこと。  
高温体、裸火のそばに保管しないこと。
- 安全な容器包装材料：基本的には製品容器を使用する。

## 8. 暴露防止及び保護処置

- 設備対策：局所排気装置の設置または全体換気を適切に行うことが望ましい。  
取扱場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。
- 管理濃度：TWA 値(シンジェンタ社) プロメトリン 9mg/m<sup>3</sup>(8hr)



許容濃度 : 日本産業衛生学会 設定されていない。  
ACGIH 設定されていない。

保護具

呼吸器用の保護具 : 防塵マスク  
手の保護具 : ゴム手袋  
皮膚及び身体の保護具 : 保護衣(長袖)、保護眼鏡

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状态

形状 : 水和性粉末  
色 : 類白色  
臭い : 無臭  
pH : 9~10  
融点 : データなし  
引火点 : 該当せず  
最小発火エネルギー : データなし  
比重 : データなし (仮比重 : 約 0.2 g/cm<sup>3</sup>)  
溶解性 (水) : 不溶  
オクタノール/水分配係数  
プロメトリン log POW = 3.1 (25°C)  
S-メトラクロール log POW = 3.0 (25°C)

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常取り扱い条件においては安定である。  
反応性 : 通常取り扱い条件においては安定である。  
避けるべき条件 : 酸、アルカリとの接触を避ける  
危険有害な分解生成物 : 通常取り扱い条件においては生成しない。  
加熱や燃焼により分解し、有毒ガスを発生するおそれがある。

## 11. 有害性情報

急性毒性 : 経口 ラット 雌 LD50 >2000 mg/kg  
経皮 ラット 雄雌 LD50 >2000 mg/kg

### 局所効果(皮膚、眼など)

: 眼刺激性 ウサギ 中程度の刺激性あり。洗眼効果あり。  
: 皮膚刺激性 ウサギ 軽度の刺激性あり。  
: 皮膚感作性 モルモット 陰性(Buehler法)  
慢性毒性(原体情報) : 動物実験で発がん性、催奇形性、変異原性を示さなかった。  
(プロメトリン、S-メトラクロール)



## 1 2. 環境影響情報

### 生態毒性

水生生物	：	コイ	LC50	26.9 mg/L (96 hr)
		オオミジンコ	EC50	35.7 mg/L (48 hr)
		緑藻	ErC50	0.052 mg/L (72hr)

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 下水道、いかなる水域、土地にも投棄してはならない。  
容器・包装等を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。  
使用した器具を洗浄する際、環境や水の汚染を避けること。  
空容器を再利用してはならない。

## 1 4. 輸送上の注意

### 国際規制

陸上	：	ADR/RID	クラス 9	PGⅢ
海上	：	IMDG コード	クラス 9	PGⅢ
航空	：	ICAO/IATA	クラス 9	PGⅢ
国連分類	：	クラス 9 (環境有害性物質)		
国連番号	：	3077		
品名	：	環境有害性物質 (固体)、N.O.S (プロメトリン、S-メトラクロール)		

### 輸送時の安全対策：

運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。

### 国内規制

陸上	：	非該当
海上輸送	：	船舶安全法 危険物船舶運送及び貯蔵規則 第3条 有害性物質 (プロメトリン)
航空輸送	：	航空法 航空法施行規則 第194条 その他の有害物件 (プロメトリン)

### 輸送の特定の安全対策及び条件：

車両等によって運搬する場合は、荷送人は運送人へイエローカードを携帯させる。

車両等には、所定の標識板、消火器、火災防止資材を備える。

容器が破損しないように、混載するときは注意すること。

取り扱い及び保管上の注意事項に留意する。



### 1 5. 適用法令

農薬取締法 : 適用(農林水産省登録 第23414号)  
化学物質管理促進法 (2009年10月1日に施行された改正法に伴う記載)  
以下のものは指定化学物質に該当

名称	種別	番号	含有率
メトラクロール	第一種	93	24.8%
POE ノニルフェニルエーテル	第一種	410	2.0%

労働安全衛生法 第57条の2 通知対象物質 シリカ (政令番号 312)

### 1 6. その他の情報

記載内容の問合せ先 : アグロ事業部 03-6731-5325

改訂の記録 : 作成 2014年 1月 16日  
改訂 2014年 8月 18日(本社移転に伴う住所変更)

引用文献 : 国際連合 化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) (改訂4版)  
THE PESTICIDE MANUAL (第15版)

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。また、記載事項は通常の手続きを前提としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、お取り扱い願います。